

株主・投資家の皆さまへ

東京ガス通信  
2006  
春夏号

# Letter

特集編

「ガス・パツ・チヨール」は  
二〇〇六年、東京ガスの新コミュニケーションワードです。

▶▶▶  
P 7

財務編 は裏面表紙からご覧ください。

イタリア生まれのスピードクッキング  
ラ・クチーナ・エスプレッサ

▶▶▶  
P 8

エネルギー・フロンティア  
TOKYO GAS  
<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

## 2006～2010年度

## グループ中期経営計画の概要



東京ガス株式会社  
代表取締役社長  
鳥原 光憲

2003年度より取り組んできた「フロンティア2007」の前倒し達成を果たしたいま、東京ガスグループは、さらなる成長を期し「天然ガス新市場の創造と開拓」に注力してまいります。この4月には新しく社長に就任した鳥原光憲から、今後のグループの目指す目標、ゴールに至る道のりについて、説明させていただきます。

## 新社長として経営環境をどうよむか

## 認識されているのでしょうか？

エネルギー業界では規制緩和が進展し、ガス対電力対石油といったエネルギー間競争に加え、ガス対ガス、電力対電力といった同じエネルギーでの競争が、ガス会社・電力会社はもとより他業種の新規参入企業も含めた形で熾烈に展開されておりあります。家庭用などの小口市場においては、オール電化など、厳しい電化攻勢に直面しています。また、年間50万m<sup>3</sup>以上ご使用のお客さまにまで拡がっている自由化の範囲は、2007年には10万m<sup>3</sup>までに拡大される予定です。

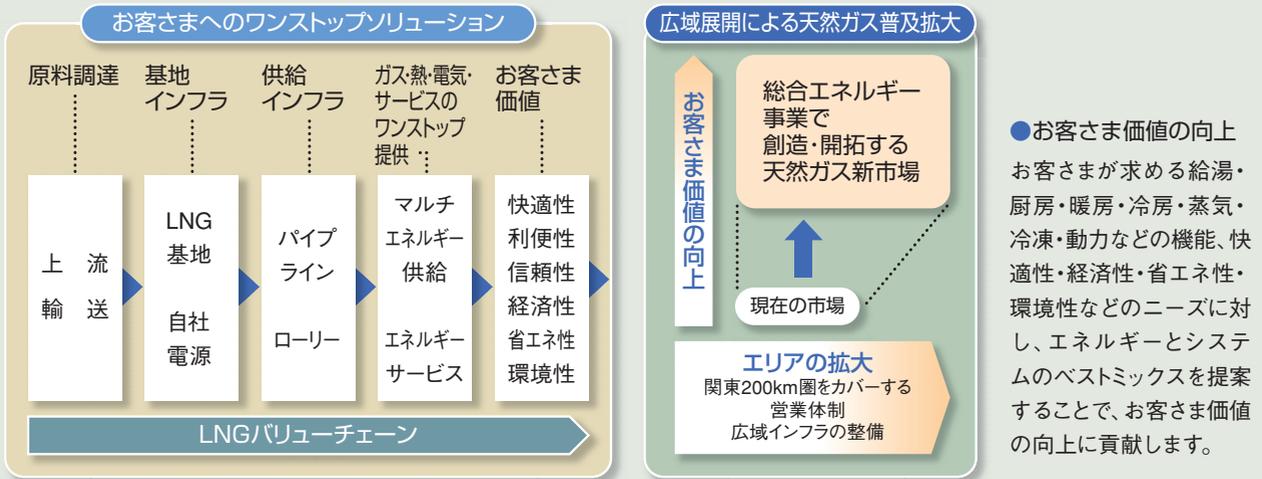
一方、天然ガスは、地球温暖化対策などへ

の対応としての環境性、高水準で推移する原油価格と比した経済性、様々な需要形態に対応できる利便性を背景に、昨今その位置づけは飛躍的に高まってきており、この天然ガスに対する期待やニーズは、今後さらに拡大するものと予測されます。これは、天然ガスを事業のコアとする当社グループにとって、さらなる成長・発展を実現する大きなビジネスチャンスだと認識しています。

「2006～2010年度グループ中期経営計画」がこの4月からスタートしましたが、どのような計画なのでしょう？

当社グループは、ガス、電力などの各種工

## ●総合エネルギー事業の展開



エネルギーやエネルギー周りの付加価値提供を事業の中核とするべく、2003年度より始まる5か年間のグループ中期経営計画「フロンティア2007」の諸政策を着実に実行してまいりましたが、計画の3年目にあたる2005年度において、当初定めた主要な経営目標をほぼ達成する見通しとなりました。その一方で、当社グループを取り巻く経営環境は、「フロンティア2007」を策定した当初と比べて大きく変化しました。

そして、当社グループは、新たに「総合エネルギー事業の確立」を目指し、「2006～2010年度グループ中期経営計画」を策定し、去る1月に発表いたしました。この中期経営計画は、「フロンティア2007」を進化させ、ガスと電力のマルチエネルギー供給とお客さまに様々なソリューションをワンストップで提供するエネルギーサービスを軸とする総合エネルギー事業を関東200km圏のより広域的なエリアで展開することにより「天然ガス新市場の創造と開拓」を図り、持続的成長を目指すものです。

また、当社グループは、総合エネルギー事業の確立には長期的な取り組みが必要であるとの認識に立ち、今回の中期経営計画を



「2010年代を見据えた長期的事業展開の重要なステップ」と位置づけ、積極的な投資とグループ企業構造の変革を中核とする戦略を展開してまいります。

当社グループでは、2010年代に目指す姿を実現するために3つのキーファクターを掲げ、それらは「天然ガスをコアにした総合エネルギー事業の確立」、「ブランド価値の向上」、そして「企業構造の変革」です。

### 具体的にはどのようか？ 達成していくのどのようか？

まず「天然ガスをコアにした総合エネルギー事業の確立」に関しましては、当社グループが有している、原料調達からお客さまへのサービスの提供に至るまでの「LNGバリュー

チェーン」を強みとした競争力のある「マルチエネルギー供給」と、技術力・営業力を強みとしたお客さまにご満足いただけるソリューションをワンストップで提供する「エネルギーサービス」を「広域展開」する総合エネルギー事業を推進します。そして、「ブランド価値の向上」では、企業の社会的責任(CSR)を果たす着実な取り組みを通じて、お客さまや社会から信頼され続けられる企業グループを目指します。さらに「企業構造の変革」により総合エネルギー事業を展開する最適な体制の構築と経営資源の集中を行うことにより、競争優位性を確立していきます。

### キャッシュフローの配分に関しては どのようにお考えですか？

2006～2010年度の5か年間に創出する営業キャッシュフロー\*は、連結で約1兆1,200億円を想定しています。これに、その他のキャッシュイン\*\*を含めたキャッシュフロー約1兆1,900億円を、当社グループの将来の持続的成長の源泉となる総合エネルギー事業分野の投融資に積極的に投入するとともに、株主の皆さまに対しても経営の成果を適切に配分してまいります。

具体的には、投融資に約8,600億円、株  
主の皆さまに約2,700億円、有利子負債削  
減に約600億円を配分します。また、一層  
の効率的経営による「コストダウン」成果につ  
きましては、キャッシュフローの原資として活用  
するとともに、料金引き下げによってお客さ  
まに還元し、競争力の強化に努めていきます。

\* 営業キャッシュフロー

＝当期純利益(お客さま還元後)＋減価償却費

\*\*その他のキャッシュイン：固定資産売却に伴う収入など

### 株主の皆さまへのメッセージをお願いします

新しい中期経営計画では、さらなる株主価  
値の向上を目指し、総分配性向(当期純利益  
に対する配当と自社株取得の割合)60%を目  
標といたします。取得した自社株につきまし  
ては、転換社債の株式への転換への対応や金

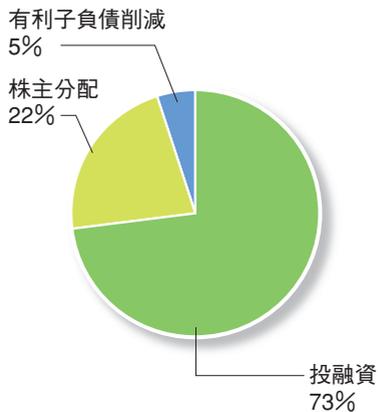
庫株として保有するほか、消却することによ  
り一株あたりの価値を高めてまいります。

最後になりましたが、私は東京ガスの新社  
長として、この新しい中期経営計画を着実に  
実行し、早期に達成することが私の使命だと  
考えています。2010年代において、天然  
ガスを基軸とする総合エネルギー事業のトッ  
プランナーとしての地位を築き、株主の皆さ  
ま、お客さまや社会から常に信頼を得て持続  
的に発展する企業グループの実現を目指して  
まいります。

株主の皆さま方におかれましては、東京ガ  
スの今後にさらにご期待いただくとともに、  
変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い  
申し上げます。

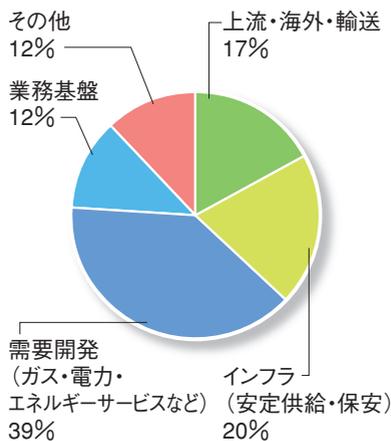
### ● キャッシュフローの配分先

(5か年合計：約11,900億円)



### ● 投融資の内訳

(5か年合計：約8,600億円)



## いすゞ自動車 藤沢工場様で エネルギー サービス スタート

(06年3月)



当社グループのエネルギーアドバンス(ENAC)がいすゞ自動車(株)藤沢工場様にてエネルギーサービスを開始しました。今後、工場全体の蒸気全量と使用電力量の約三分の一をENACの設備で賄います。

環境性の高い天然ガスCO<sub>2</sub>ジェネレーションを用いたENACのエネルギーサービスは今日、自動車業界でも注目されています。すでに昨年、富士重工(株)宇都宮製作所様で採用されており、今後、他社でも採用が見込まれています。

## 川崎天然ガス 発電所 建設着工

(06年2月)



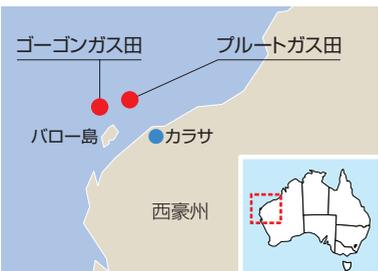
新日本石油(株)と当社の出資による川崎天然ガス発電(株)が、発電所の建設に着工しました。二〇〇八年運転開始の予定です。

川崎天然ガス発電は二〇〇一年に設立され、これまで新日本石油川崎事業所内での発電所建設に向け準備を進めてきました。

当社はクリーンエネルギーである天然ガスをコアとした総合エネルギー事業の確立を目指し、今後、川崎天然ガス発電を特定規模電気事業向け発電事業の柱として電力事業を推進する計画です。

## 二つの豪州LNG プロジェクトへ 参画で基本合意

(05年10・12月)



当社は、基本合意締結により、ゴーンプロジェクトでは二十五年間に百二十万トン／年の購入とともに権益保有につき協議、ブルートプロジェクトでは十五年間に百五十万トン／年、五パーセントの権益を取得することになりました。両プロジェクトへの資本参加、LNGの購入により、当社にとってはより競争力のあるLNGの調達が可能となり、LNGバリューチェーンの拡充に大きく寄与するものとなります。

## ガスの科学館 リニューアル オープン

(06年6月)



二十年間皆さまにご愛顧いただいていた「ガスの科学館」が、東京メトロおよびゆりかもめ豊洲駅近くに移転するとともに、「がすてな」に「ガスの科学館」としてリニューアル・オープンしました。

どなたでもお気軽に見学いただけます。個人やご家族など少人数のお客さまはご自由に、二十名以上のお客さまは事前に申込みをお願いします。「がすてな」に「ガスの科学館」で、ガスの世界の「はてなっ」と「なるほど」を体感してください。

● <http://www.gas-kagakukan.com/>

## 2005年度ディスクロージャー表彰 IR活動が評価され、 ダブル受賞

2005年度IR優良企業賞 特別賞



東証の表彰風景

当社は、東京証券取引所（東証）から「二〇〇五年度ディスクロージャー表彰」を、日本IR協議会から「二〇〇五年度IR優良企業賞特別賞」を受賞しました。

ディスクロージャー表彰は、東証が情報開示に積極的と認められる会社を毎年一回表彰しているもので、開示のスピード、内容の充実度などの観点から、主に決算短信・株主向け刊行物などについて評価します。

当社は決算短信の内容に加え、この東京ガス通信「Letter」での財務

詳しい解説が評価され、表彰会社に選定されました。また、「IR優良企業賞」は、日本IR協議会が、会員企業のなかから選定するもので、同協議会によると優良企業は株価や時価総額を高水準に保つ傾向が見られ、個人投資家などの間でも注目を集めています。

当社は、長年にわたり投資判断に有効な財務情報や業界動向を開示していること、また、個人投資家向けIRにおいて女性をターゲットにしたイベントを開催するなどの工夫が評価され、特別賞を受賞しました。

## 施設見学会のご案内

株主の皆さまを対象としました見学会を下記の通り開催いたします。株主の皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

### 施設見学会の概要と応募要領

- |                |             |                        |
|----------------|-------------|------------------------|
| □見学会の<br>日程と施設 | ・9月26日(火)   | 当社根岸工場(横浜市)            |
|                | 13:00~17:30 | 集合場所 東京ガス本社ビル(港区)      |
|                | ・9月28日(木)   | 当社千住テクノステーション[商品開発部]   |
|                | 13:30~16:30 | 集合場所 千住テクノステーション(荒川区)  |
|                | ・10月5日(木)   | 当社新宿ショールーム・新宿地域冷暖房センター |
|                | 13:30~17:00 | 集合場所 新宿ショールーム(新宿区)     |

※ご自宅から集合場所までの往復交通費はご本人のご負担とさせていただきます。

- |       |  |                   |
|-------|--|-------------------|
| □募集人数 | 根岸工場   | 40組 80名様(1組2名様まで) |
|       | 千住テクノステーション  | 25組 50名様(1組2名様まで) |
|       | 新宿ショールーム   | 30組 60名様(1組2名様まで) |
| □応募方法 | 左記の通り、官製往復はがきに必要な事項をご記入のうえご郵送ください。締切は、8月31日(当日消印有効)です。 |                   |

### 往信・うら

- ・お名前
- ・ご年齢
- ・ご住所
- ・お電話番号
- ・ご希望日

(9月26日・28日・10月5日のうち、第2希望までをご記入ください。)

- ・同行ご希望者のお名前

(おひとりでご参加の場合は不要です。)

### 往信・おもて

〒105-8527

東京都港区  
海岸1-5-20  
東京ガス株式会社

総務部総務グループ行

※返信用はがきのおもてには、ご住所・お名前を明記願います。

応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

結果は、返信用はがきにてお知らせいたします。

\*応募に伴いお預かりした株主さまの個人情報につきましては、見学会のご案内、ご連絡のために利用させていただき、それ以外の目的では利用いたしません。

## 『ガス・パッ・チョ!』CMも好調

今年1月から放映中の「ガス・パッ・チョ!」テレビCMシリーズは、CM好感度調査で上位を獲得するなど、ご好評をいただいています。「ピピッとコンロ・信長篇」に始まり、ベートーベン・小野妹子など、毎回歴史上の人物が未来の(すなわち現代の)「ガスのある暮らし」の快適性・環境性・利便性などに感動するというストーリーです。メインのタレントには幅広い年齢層から好感度の高い妻夫木聡さんを起用。若手実力派俳優の清々しいイメージで、「東京ガスが変わった」「ガスには未来がある」ということを強烈に印象づけるコミュニケーションを展開していきますので、お楽しみに!!

●ガス・パッ・チョ! ホームページ  
<http://www.pa-cho.jp>



ピピッとコンロ・信長篇

タイムマシンに乗って2006年の東京にやってきた織田信長。何事にも興味を持つ信長は、ピピッとコンロにも興味津々の様子です。最後はクローゼットから千利休まで登場して…。

# ガス・パッ・チョ!

ガスで、  
 パッと明るく、  
 チョっといい未来。

「ガスで、パッと明るく、チョっといい未来。」(略して「ガス・パッ・チョ!」)  
 二〇〇六年、東京ガスの新コミュニケーションワードです。

### 快適・省エネな生活をワンストップで

当社は新しいグループ中期経営計画において、お客さまの快適性・経済性・省エネ性・環境性などのニーズに対応し、生活価値向上を実現する、次のような商品・サービスの提供を掲げています。

#### ■マイホーム発電

給湯、暖房から電気まで供給する省エネで経済的な家庭用「ジーネレーションコライフェル」(燃料電池)、「エコウイル」(ガスエンジン)をマイホーム発電と位置づけ、設置からメンテナンスまでワンストップで提供し、快適かつ環境にやさしい生活を実現

#### ■生活価値提案型機器・システム

温水システム「TES」、床暖房、ミストサウナ「MISTY」、「ピピッとコンロ」、省エネ型高効率給湯器「エコジョーズ」、先進的ホームオートメーション「リモートプラス」などの提案によりガスだからこそ実現できる快適な暮らしを提供

これら家庭用分野における当社の決意を総合的に表現したコミュニケーションワードが『ガス・パッ・チョ!』です。

## ラ・クチーナ・エスプレッサ



「ラ・クチーナ・エスプレッサ」はイタリアから採り入れたスタイル。素材のよさをコンロの炎が生かすスピード・同時調理です。時間と愛情をかけたマンマの味がイタリアの食文化ですが、多くの女性が仕事を持ち、スピードが要求される現代に生まれたのが「ラ・クチーナ・エスプレッサ」という概念です。

クチーナは「料理」、エスプレッサは「早い」。しかし、それだけではありません。3〜4品の料理を同時進行で短時間に調理し、あとはゆっくり食事を楽しみましょう。家族の豊かな時間を増やしてくれる、現代にぴったりの調理スタイルが「ラ・クチーナ・エスプレッサ」です。

### 「ラ・クチーナ・エスプレッサ」 成功のための 5つのポイント

#### Point 1 段取り力

無駄を省いた段取りのよさがこそが同時調理の決め手

#### Point 2 素材選び

旬のよい素材を選んで、シンプルな調理で味わうのが極意

#### Point 3 コンロ使いこなし

ガスコンロは「ラ・クチーナ・エスプレッサ」の最強の味方

#### Point 4 キッチングッズ

調理法に合わせて鍋の材質、大きさを選ぶ

#### Point 5 食卓

おいしく食べるための仕上げは食卓のコーディネート

ご存知ですか？  
コンロの上手な使い方



毎日使うコンロには、ガスだからこそのできる技がたくさん。バーナー3口とグリルを上手に使い分けてこそ、「ラ・クチーナ・エスプレッサ」の完成!!

#### 大バーナー

炒め物など高熱短時間の調理に。素材をシャキシャキ、ジューシーに仕上げられる。

#### 標準バーナー

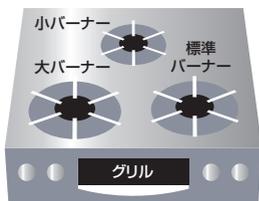
とろ火から強火まで、用途に応じて調整可能。温度調節・炊飯機能付きも。

#### 小バーナー

3つのコンロの中で一番火力が弱い。スープの温め直しや保温などに。

#### グリル

魚・肉や野菜、トースト、揚げ物の温めなど何でもこなせる万能選手。両面焼き水なしグリルが便利。



Web レシピなど「ラ・クチーナ・エスプレッサ」のホームページはこちら  
<http://home.tokyo-gas.co.jp/benri/24lacucina/index.html>

# Letter

東京ガス通信  
2006  
春夏号

財務編

株主・投資家の皆さまへ

## 2006年3月期決算のご報告

- 業績ハイライト……………P1-2
- 財務諸表……………P3-4
- 主な指標……………P5
- 会社情報・株式情報………P6

**特集編** は裏面表紙からご覧ください。



火ぐまのパッチョ

ガス

パツ

チョ!

ガスで、  
パツと明るく、  
チョっといい未来。

# 2006年3月期 業績ハイライト (連結)

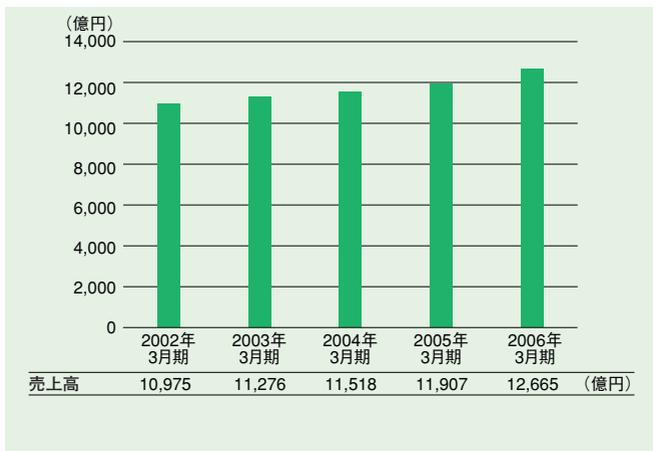
東京ガスグループの2006年3月期連結決算は、連結子会社54社と持分法適用関連会社1社となっております。連結売上高は、ガス売上高がガス料金引き下げの影響はありましたものの、ガス販売量の増加および原料費調整制度に基づく料金単価調整などにより、9.1%増加したことなどにより、全体では**6.4%増加し、1兆2,665億円(過去最高)**となりました。

費用は、ガス販売量の増加および原油価格の高騰などに

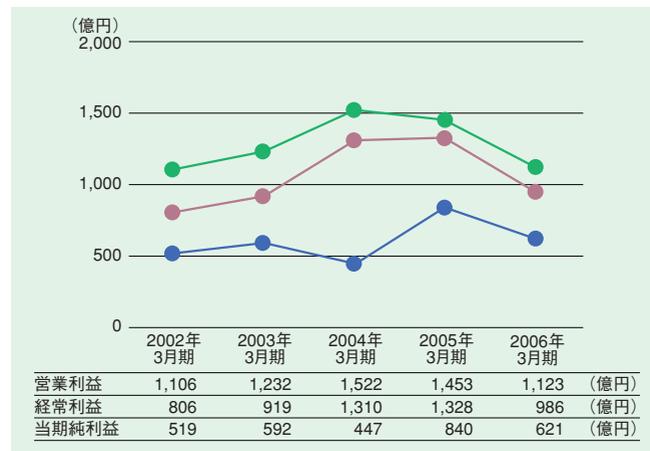
伴い原材料費が大幅に増加したため、経営効率化の一層の推進を図り、費用の抑制に努めましたものの、営業利益は**22.7%減の1,123億円**、経常利益は**25.7%減の986億円**となりました。当期純利益は、投資有価証券売却益ほか76億円を特別利益、システム開発中止に伴う損失ほか54億円を特別損失にそれぞれ計上した結果、**26.1%減の621億円**となりました。この結果、連結決算におきましては、経常利益ベースでは9年ぶりの増収減益となりました。

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通しおよび計画に基づいた予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる可能性があります。

## ■売上高



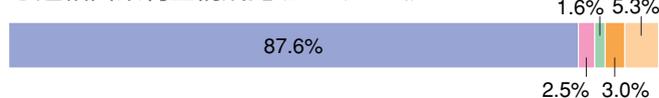
## ●営業利益 ●経常利益 ●当期純利益



## ●連結売上高構成比 (2006年3月期)



## ●連結営業利益構成比 (2006年3月期)

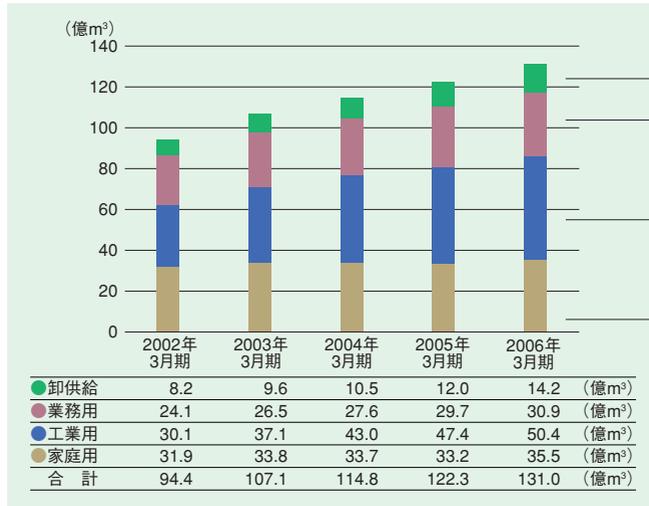


※売上高および営業利益の構成比率には、セグメント間の取引を含んでおります。

事業区分はガス事業会計規則に準拠した売上集計区分によっています。各事業区分に属する主要な製品は以下の通りです。

■ ガス: ガス ■ ガス器具: ガス機器 ■ 受注工事: ガス工事 ■ 不動産賃貸: 建物の賃貸・管理など ■ その他の事業: 地域冷暖房、LPG販売など

## ガス販売量実績



## [05/3→06/3主な増減要因]

### 卸供給 (+18.6%)

・供給先事業者の新規需要の開発など

### 業務用 (+3.9%)

・前年猛暑の反動による冷房需要の伸び悩み  
・今期厳冬による暖房需要の増  
・新規需要の開発など

### 工業用 (+6.3%)

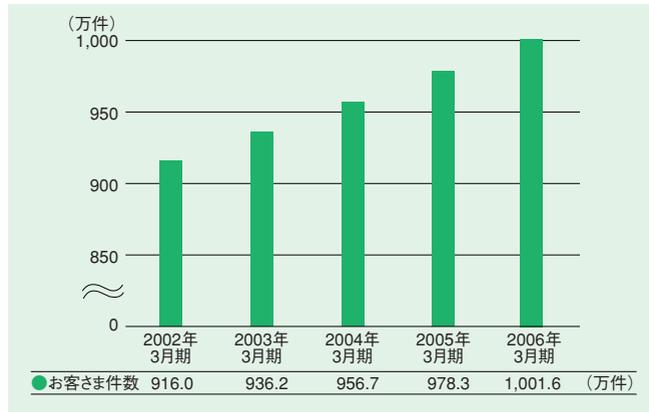
・新規需要の開発および既存物件の順調な稼働

### 家庭用 (+6.9%)

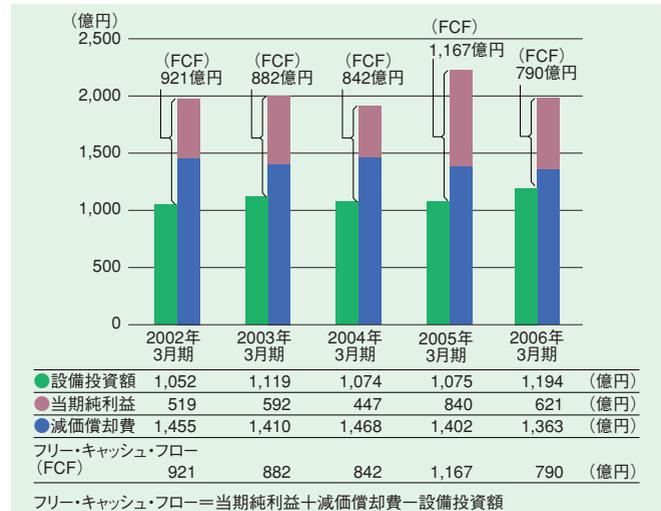
・低気温による給湯・暖房需要の増  
・お客さま件数の増

※2006年2月のガス標準熱量変更に伴い、販売量を過去に遡って46.04655MJ/m<sup>3</sup>から45MJ/m<sup>3</sup>に調整しております。

## ■ お客さま件数



## フリー・キャッシュ・フロー (FCF)



※財務編p1～6の各数値は四捨五入・切り捨て処理などの関係で、合計が合わない場合があります。

# 財務諸表（連結・単体）

## 連結 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	2005.4~2006.3	2004.4~2005.3
<b>1 売上高</b>	1,266,501	1,190,783
売上原価	724,503	624,722
<b>売上総利益</b>	541,998	566,060
供給販売費	352,388	346,617
一般管理費	77,263	74,094
<b>2 営業利益</b>	112,345	145,349
営業外損益	▲ 13,657	▲ 12,493
<b>3 経常利益</b>	98,689	132,856
特別損益	2,158	466
<b>税金等調整前当期純利益</b>	100,846	133,322
法人税・住民税および事業税	35,703	45,073
法人税等調整額	2,497	3,534
少数株主損益	530	667
<b>4 当期純利益</b>	62,114	84,047

## 解説

ガス売上高が対前期比9.1%増加したことなどにより、**1** 連結売上高は同6.4%増の1兆2,665億円となりました。

費用は、ガス販売量の増加および原油価格の高騰などに伴い原材料費が大幅に増加したため、諸給与・諸経費などの抑制に努めましたものの、**2** 営業利益は22.7%減、**3** 経常利益は25.7%減となりました。

**4** 当期純利益は、投資有価証券売却益ほか76億円を特別利益、システム開発中止に伴う損失ほか54億円を特別損失にそれぞれ計上した結果、26.1%減の621億円となりました。

## Web

財務諸表の詳細は当社ホームページでご覧ください。  
URL : [http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html)

## 連結 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	2006.3	2005.3
<b>(資産の部)</b>		
<b>固定資産</b>	1,391,882	1,382,066
有形固定資産	1,140,302	1,159,517
無形固定資産	23,649	22,779
投資その他の資産	227,931	199,769
<b>流動資産</b>	302,016	286,667
<b>資産合計</b>	1,693,898	1,668,734

	2006.3	2005.3
<b>(負債の部)</b>		
<b>固定負債</b>	661,945	718,878
<b>流動負債</b>	293,466	292,458
<b>負債合計</b>	955,411	1,011,337
<b>少数株主持分</b>	10,255	8,630
<b>(資本の部)</b>		
資本金	141,844	141,844
剰余金その他	631,225	566,066
自己株式	▲ 44,840	▲ 59,145
<b>資本合計</b>	728,231	648,766
<b>負債・少数株主持分および資本合計</b>	1,693,898	1,668,734

## 連結 キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

	2005.4~2006.3	2004.4~2005.3
1 営業活動によるキャッシュ・フロー	181,529	215,037
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 116,071	▲ 107,375
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 83,041	▲ 108,160
現金および現金同等物に係る換算差額	4	▲ 2
現金および現金同等物の増減額	▲ 17,578	▲ 500
現金および現金同等物の期首残高	50,664	43,960
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額	12,547	7,204
4 現金および現金同等物の期末残高	45,633	50,664

## 解説

当期は、1 営業活動で生じた1,815億円を、2 固定資産や投資有価証券などに1,160億円投資し、3 自己株式の取得や有利子負債の返済などに830億円が支出されました。その結果、4 期末の現金および現金同等物の残高は減少(▲50億円)しました。

## 単体 損益計算書(要旨) (単位:百万円)

	2005.4~2006.3	2004.4~2005.3
営業収益	1,078,107	1,013,993
ガス売上	896,613	825,341
その他収益	181,494	188,651
営業費用	987,117	893,822
売上原価	422,158	328,910
販売費および一般管理費	390,285	385,706
その他費用	174,674	179,206
営業利益	90,990	120,167
営業外損益	▲ 5,901	▲ 2,975
経常利益	85,089	117,192
特別損益	▲ 216	4,826
法人税等	28,970	37,750
法人税等調整額	603	5,601
当期純利益	55,299	78,666
当期末処分利益	96,567	112,953

## 単体 貸借対照表(要旨)

	2006.3	2005.3
(資産の部)		
固定資産	1,161,187	1,150,993
有形固定資産	811,322	833,782
無形固定資産	16,453	15,160
投資その他の資産	333,411	302,051
流動資産	235,540	231,272
資産合計	1,396,728	1,382,265

(単位:百万円)

	2006.3	2005.3
(負債の部)		
固定負債	514,148	577,104
流動負債	239,626	231,102
負債合計	753,775	808,206
(資本の部)		
資本金	141,844	141,844
剰余金その他	545,947	491,358
自己株式	▲ 44,840	▲ 59,145
資本合計	642,953	574,059
負債・資本合計	1,396,728	1,382,265

# 主な指標

## 経営指標 (連結)

### ■ 当期純利益 ● ROA ● ROE



ROA=当期純利益÷期首・期末平均総資産×100  
ROE=当期純利益÷期首・期末平均株主資本×100

### ■ 総資産 ■ 株主資本 ● 株主資本比率



株主資本比率=株主資本÷総資産×100

### ■ 有利子負債残高 ● デット・エクイティ・レシオ(D/Eレシオ)



デット・エクイティ・レシオ(D/Eレシオ)=有利子負債÷株主資本

## 株式関連指標 (連結)

### ■ 1株当たり当期純利益(EPS) ● 株価収益率 (PER)



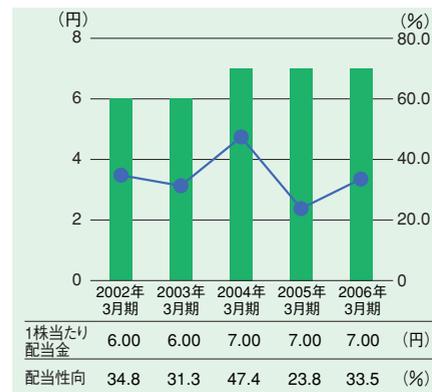
1株当たり当期純利益(EPS)=当期純利益÷期中平均株式数  
株価収益率(PER)=期末株価÷EPS

### ■ 1株当たり株主資本(BPS) ● 株価純資産倍率 (PBR)



1株当たり株主資本(BPS)=株主資本÷期末株式数  
株価純資産倍率(PBR)=期末株価÷BPS

### ■ 1株当たり配当金(単体) ● 配当性向(単体)



配当性向=1株当たり年間配当金÷1株当たり当期純利益×100

## 会社情報 (2006年3月31日現在)

会社名: 東京ガス株式会社 設立: 1885(明治18)年10月1日  
 本社所在地: 〒105-8527 東京都港区海岸一丁目5番20号  
 従業員数: 8,200名(注)従業員数は常勤の就業人員数を記載しており、出向者および臨時従業員を含みません。  
 格付け: AA+(R&I:格付投資情報センター)、Aa1(ムーディーズ)  
 連結子会社: 54社 持分法適用関連会社: 1社

### 取締役および監査役 (2006年6月29日現在)

取締役会長	上市	原	英	治
取締役副会長	野	野	紀	生
代表取締役社長(兼 社長執行役員)	鳥	原	光	憲
代表取締役(兼 副社長執行役員)	草	野	成	郎
代表取締役(兼 副社長執行役員)	小	林	剛	也
代表取締役(兼 副社長執行役員)	前	田	忠	昭
取締役(兼 常務執行役員)	岡	本	昌	毅
取締役(兼 常務執行役員)	杉	山	邦	樹
取締役相談役	安	西	友	三
取締役(社外)	茂	木	友	三
取締役(社外)	今	野	由	一
取締役(社外)	山	本	井	浩
監査役	平	本	井	浩
監査役	徳	花	恒	正
監査役(社外)	清	水	利	光
監査役(社外)	森		昭	治

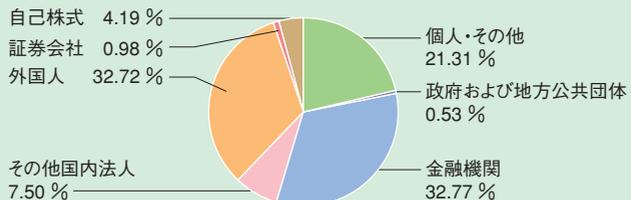
### 執行役員 (取締役兼務者を除く) (2006年6月29日現在)

副社長執行役員	石	黒	正	大	執行役員	蛭	間	泰	弘
常務執行役員	手	塚	俊	夫	執行役員	板	沢	幹	雄
常務執行役員	村	木	茂	茂	執行役員	広	瀬	道	明
常務執行役員	中	西	誠	一	執行役員	吉	野	和	雄
常務執行役員	鏡	木	正	行	執行役員	渡	辺	尚	生
常務執行役員	蟹	沢	俊	行	執行役員	前	川	燿	男
常務執行役員	大	谷	勉	学	執行役員	福			彦
執行役員	星	野	則	和	執行役員	幡	場	松	
執行役員	森	邦	弘						

## 株式の状況

資本金	141,844,398,888 円
発行済株式総数	2,810,171,295 株
株主数	176,451 人

## 所有者別株式分布状況



## 株式情報

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 配当金受領株主確定日 毎年3月31日・中間配当金 毎年9月30日  
 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号中央三井信託銀行株式会社  
 同事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
**【電話】東京(03)3323-7111(代表)**  
 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

## ● 株式に関するお問い合わせ先

- 住所変更、配当金の受け取り、名義書換などの株式に関する手続きは中央三井信託銀行でお取扱しております。お問い合わせは上記連絡先をお願いいたします。
- 各種手続き用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

☎0120-87-2031

**【URL】** [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

**【URL】** [http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html)

- 当社のIR情報は携帯電話からもご覧いただけます。

**【URL】** <http://www.m-ir.jp/c/9531>

- 東京ガス通信に関するお問い合わせ  
 総合企画部IR室 ☎03-5400-3888
- その他のお問い合わせ  
 総務部総務グループ ☎03-5400-3894
- ホームページアドレス  
**【URL】** <http://www.tokyo-gas.co.jp/>



バーコードリーダーで読み込んでください。

## ● 株価および出来高の推移 (東京証券取引所)

